

鈴木妙子議員

環境問題

問 使い終わった天ぷら油を回収し、軽油の代替燃料として再利用してはどうか。

答 生活環境の保全及び資源の有効活用という観点から、自治会や連合会の皆様にも呼びかけ、再利用する方向で取り組みたい。

問 「もったいない運動」の展開と啓発の考えは。



「絵本を楽しむワークショップ」の様子

答

「もったいない」という言葉の意味は、単に物を使い惜しむのではなく、その物の持つ本来の値打ちや役割に着目して、むだにすることなく、それを生かしていくことであると認識している。今後、様々な事業を行うに当たり、「もったいない」という言葉をキャッチフレーズにするなど、さまざまな機会を通して、市民に啓発をしたい。

子育て支援

問 親子が絵本を介して喜びを分かち合う「ブックスタート事業」を導入しては。

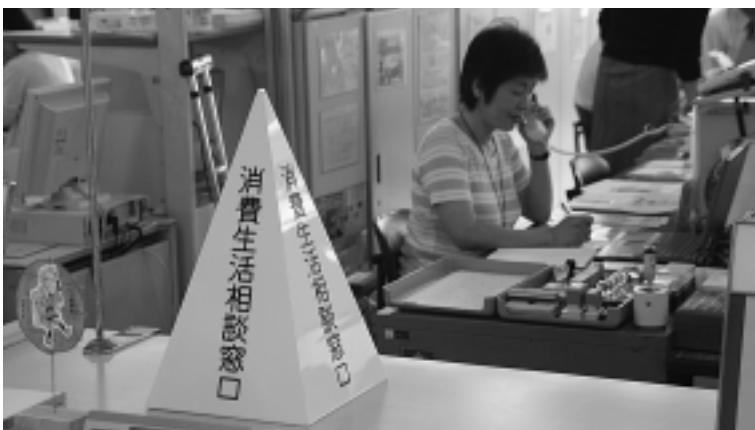
答 現在、図書館を初め、関係機関との連携を図る中で、ブックスタート事業を行うための具体的な実施方法を検討しており、間もなく実施できると考えている。

高橋美博議員

所得格差拡大問題

問 生活保護制度は最後のよりどころであり、親身な対応が求められる。市内の保護件数、保護率の推移はどうか。

答 旧袋井市（旧浅羽町）の生活保護は県で実施のため含まずの平成13年度末の保



「消費生活センター」窓口

問 多重債務者急増が深刻な社会問題となっている。市の対応は。

答 商工課内の消費生活センター、しあわせ推進課におけるケースワーカーや家庭児童相談室が多重債務者の相談に対応している。また、県の西部県民生活センターなどの連携、県弁護士会などへの紹介もしている。公民館での消費者啓発出前講座の開催など、市民が多重債務に陥らないよう、事前の啓蒙活動を進めたい。